

2026年 4月 23日

## キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

1級受検番号 NO 05F3120133 氏名 T.U. (兵庫県在住)

<b>■1級技能士を目指したきっかけ</b>
2級受検時に、何度も不合格を重ね、11回目でようやく合格しました。ロープシで一緒にする方々が続々と2級に合格されていかれるなかで、焦りと悔しさを感じてばかりいました。なんとか2級に合格したものの「やっと…」との思いが強く、満足感を得ることができなかったため、1級を目指そうと決意しました。
<b>■当初の勉強法</b>
2級受検の際、当初は独学で取り組んでおりましたが、あと一步届かない結果(いま思えば惜しいわけでもなかったと自覚しています)が続き、他の受検対策講座をいろいろ受講していました。「何が正解なのか」が見えない中で、繰り返し2級試験に挑んだもののやはり合格には至れず、藁をも掴む思いで1級技能士の会に出会い、2級対策講座を受講させていただきました。そこで基本を学ぶことができ、ロープシの全体像をつかむことができたため、2級に合格することができました。1級は3回目で合格できたのも1級技能士の会で基本を学べていたからだと思います。
<b>■合格のきっかけ</b>
私の場合は2級面接で何度も苦労したからこそ、1級に合格できたのだと思います。特に「傾聴」においては大変苦労し、そして学びを深める良い機会だったと捉えています。
<b>■論述試験対策</b>
1回目、2回目と勉強期間のほとんどを学科対策に注いでおり、2級受検時同様「論述はなんとかなるだろう」と甘く見ていた点が大きな反省点でした。2回目の受検時は面接試験は合格点だったにもかかわらず、論述で落としてしまい、強く反省していました。そんな経緯からも3回目受検時は論述対策にかなりの時間を割きました。1級技能士の会で学んだテキストを何度も読み返し、過去問を何度も実践して「とにかく最後まで書き切る」練習を繰り返しました。3回目で論述も合格できたものの、自信を持って挑んだにもかかわらず、結果は及第点にとどまり、改めて論述試験の難しさを痛感しました。
<b>■面接試験対策</b>
面接試験においては2回目受検の際も合格していましたが、2級受検の度重なる失敗から、決して油断はしないと誓っていました。本番時にどんな相談者役の方が来られても基本からぶれないロープシを実践できるようになったのも1級技能士の会の先生のおかげです。他には、とにかくロープシを人一倍実践しました。勉強会でお会いした方や知人をお願いし、何度もロープシを行うことで構造を把握する力が養えたのだと思います。個人的には1級技能士の会で試験直前に行われる「講師が本試験ケースの事例相談者役を演じるロールプレイゼミ」の受講をお勧めします。改善点をアドバイスいただけることはもちろんですが、クセのない、本番に近いロープシができることに加え、ロープシをうまく運べるよう導いてくださる点から、本番試験に自信を持って挑むことができるようになります。
<b>■受検される方へメッセージ</b>
受検される方のなかに私のように何度も不合格を経験された方がいらっしゃれば、やはり「あきらめないで」とお伝えしたいと思います。これまでたくさんのロープシをお願いしてきましたが、私より上手い方々がたくさんいらっしゃいました。十分合格できるだろうと思える方々でも、なかなか合格できず、あきらめていかれる姿を見てきました。何度も不合格が続くとそれこそ

「自己効力感」が低下してしましますが、積み重ねた努力は必ず力になっているはずです。  
また、私自身も「もうあきらめよう」と思ったときに多くの方々が支えてくださり、ロープ役相手になってくれました。もし何かのご縁がありましたら「恩返し」の意味も込めて、ロープ役としてお力になればと思います。